

第 5 次播磨町総合計画

戦略プロジェクト (素案)

(第 2 期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

第1章 総合戦略について

1. 総合戦略の目的

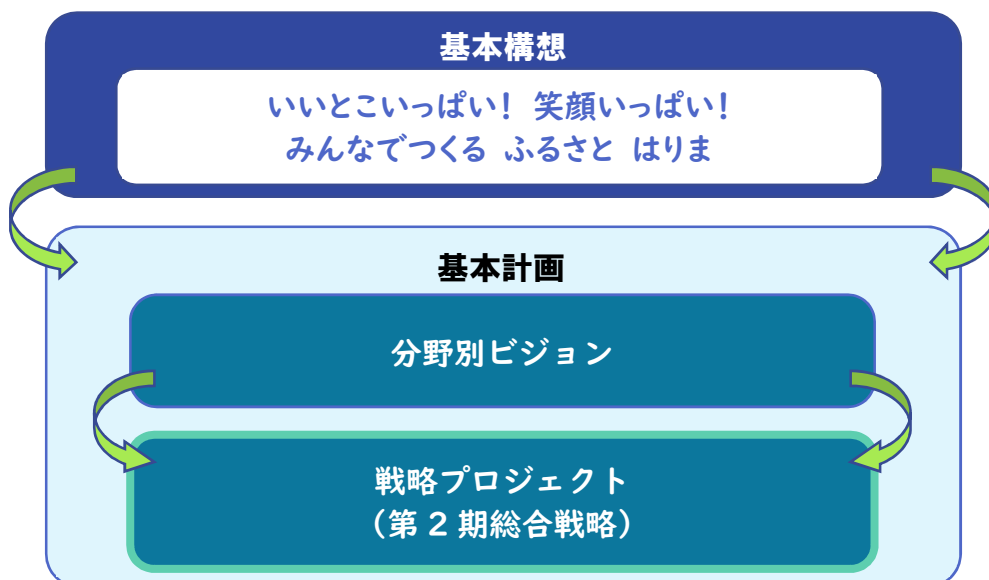
国では、日本の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持する地方創生に取り組むため、2014年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。併せて、2060年に1億人程度の人口維持などの展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、その実現に向けた5か年の目標や施策等をまとめた第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んできました。しかし、少子高齢化や東京一極集中の緩和には至らず、2019年には第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をとりまとめました。

本町においても、2015年に「播磨町人口ビジョン」において2060年までの長期的人口動向を展望するとともに、5年間の取り組みを示す「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んできたところです。本町では、今回新たに「第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期総合戦略」という。）を策定し、今後5年間の人口減少対策の方向性等を定め、本町における人口政策をより力強いものとしていきます。

2. 総合戦略の位置づけ

「第2期総合戦略」は、「第5次播磨町総合計画」における“戦略プロジェクト”として、その「基本計画」の一部を構成するものとして位置づけます。

「第5次播磨町総合計画」のめざす将来像「いいとこいっぱい！ 笑顔いっぱい！ みんなでつくるふるさと はりま」の実現に向け、人口政策の面からその方向性や目標を明らかにする、いわば人口戦略とも言えるものです。



第2章 長期的人口目標（人口ビジョン）

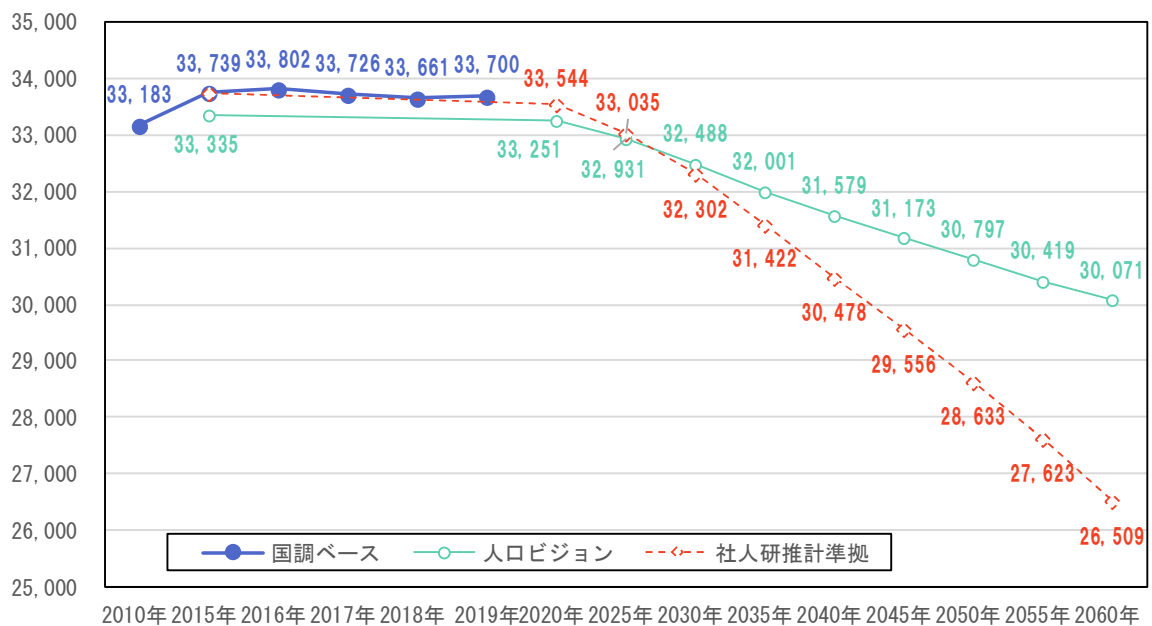
1. 2015年以降の人口動向

2015年に策定した「播磨町人口ビジョン」では、2060年までの長期的視点から人口減少を緩和し、それにより達成すべき将来人口を示しており、具体的には、2020年には33,251人、2040年には31,579人、2060年には30,071人をそれぞれ維持することを目標としています。

※「播磨町人口ビジョン」は2015年に策定していますが、2015年国勢調査結果確定前の検討・策定であったため、「播磨町人口ビジョン」における2015年値は推計値であり、その後に確定した2015年国勢調査人口とは異なる値となっています。

また、2015年国勢調査結果までを踏まえた国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」に準拠した推計によると、播磨町の将来人口は、2020年には33,544人、2040年には30,478人、2060年には26,509人となることが見込まれています。

播磨町の人口動向



※国調ベース（各年10月1日現在）は、「兵庫県推計人口」（直近の国勢調査時の人口に、その後の出生・死亡、転入・転出による人口の増減を加算したもの）による。
※社人研推計準拠は、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」を踏まえ、当該推計パラメータに準拠しつつ、推計年を2060年まで延伸したもの。なお、上記では性別・年齢別の整数化処理を行っているため、IPSS推計の公表値とは若干異なる場合がある。

こうした中、本町の2015年以降の人口動向（国調ベース）についてみると、2019年（10月1日現在）時点で33,700人となっており、「播磨町人口ビジョン」における目標人口を上回るペースで推移しており、「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少抑制に向けた取組の成果と考えられます。

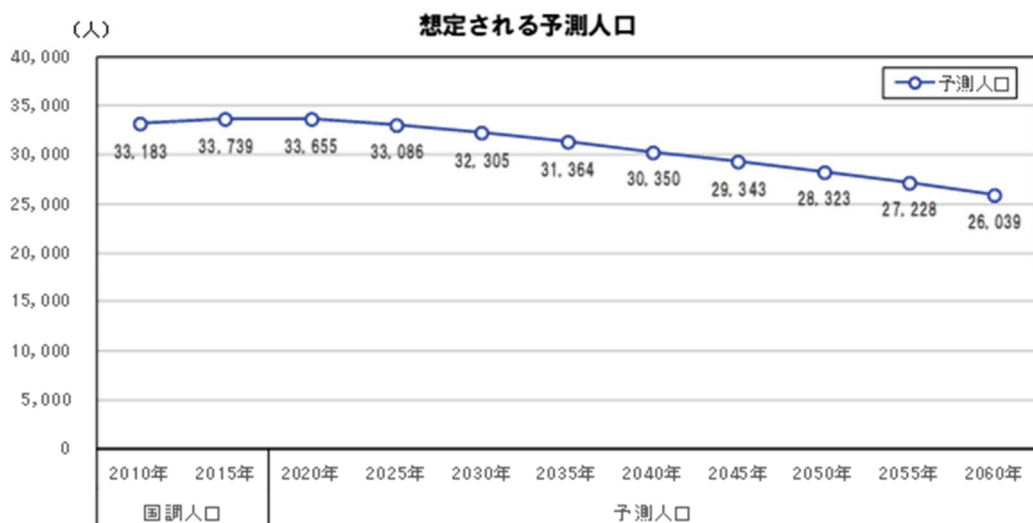
2. 長期的目標人口（人口ビジョン）の見直し

2015年以降の本町の人口動向が「播磨町人口ビジョン」での目標を上回っていること等を踏まえ、本町における新たな長期的目標人口について次のように見直します。

(1) 現状から想定される予測人口

推計にあたっては、社人研推計において採用された各種パラメータの修正・調整等を通じて、2015年以降の本町の人口動向と整合するように予測人口の補正を行います。

こうして、予測人口を推計すると、2040年には30,350人、2060年には26,039人にまで減少することが想定されます。



(単位：人)

予測人口	国調人口		推計人口								
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口	33,183	33,739	33,655	33,086	32,305	31,364	30,350	29,343	28,323	27,228	26,039
0～4歳	1,391	1,615	1,484	1,416	1,383	1,334	1,270	1,196	1,125	1,071	1,030
5～9歳	1,604	1,644	1,732	1,579	1,505	1,472	1,420	1,352	1,273	1,198	1,140
10～14歳	1,769	1,674	1,655	1,729	1,575	1,500	1,468	1,415	1,348	1,269	1,194
15～19歳	1,749	1,732	1,633	1,601	1,662	1,512	1,439	1,407	1,356	1,292	1,216
20～24歳	1,737	1,651	1,668	1,564	1,520	1,557	1,411	1,339	1,309	1,261	1,202
25～29歳	1,899	1,704	1,636	1,668	1,557	1,515	1,524	1,375	1,305	1,276	1,229
30～34歳	2,184	1,967	1,792	1,714	1,762	1,646	1,590	1,573	1,420	1,347	1,317
35～39歳	2,653	2,352	2,041	1,855	1,770	1,825	1,706	1,644	1,625	1,467	1,391
40～44歳	2,269	2,736	2,421	2,098	1,911	1,821	1,880	1,758	1,695	1,675	1,512
45～49歳	1,951	2,259	2,689	2,360	2,051	1,867	1,779	1,837	1,719	1,656	1,637
50～54歳	1,899	1,905	2,214	2,616	2,291	1,996	1,817	1,732	1,788	1,673	1,612
55～59歳	2,248	1,862	1,881	2,176	2,569	2,245	1,960	1,785	1,701	1,756	1,643
60～64歳	2,864	2,173	1,807	1,822	2,113	2,496	2,179	1,906	1,735	1,654	1,707
65～69歳	2,482	2,750	2,081	1,724	1,743	2,027	2,397	2,094	1,833	1,667	1,590
70～74歳	1,799	2,307	2,588	1,948	1,618	1,641	1,912	2,265	1,979	1,733	1,575
75～79歳	1,303	1,572	2,032	2,287	1,726	1,441	1,468	1,714	2,030	1,774	1,554
80～84歳	808	1,044	1,254	1,630	1,869	1,418	1,196	1,228	1,429	1,692	1,481
85～89歳	391	554	718	864	1,137	1,341	1,029	882	905	1,049	1,242
90歳以上	183	238	329	435	543	710	905	841	748	718	767
構成比											
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.3%	13.8%	13.7%	13.7%	13.5%	13.2%	13.0%	12.9%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.9%	59.5%	58.9%	57.0%	55.7%	55.3%	55.3%	55.6%
65～74歳	12.9%	15.0%	13.9%	11.1%	10.4%	11.7%	14.2%	14.9%	13.5%	12.5%	12.2%
75歳以上	8.1%	10.1%	12.9%	15.8%	16.3%	15.7%	15.1%	15.9%	18.0%	19.2%	19.4%
高齢化率	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.3%	29.3%	30.8%	31.5%	31.7%	31.5%

※国調人口について、年齢不詳人口がある場合はこれを社人研按分値を踏まえて按分している。

(2) 新たな長期的目標人口

現状として将来的に想定される予測人口をベースに、目標人口は以下のように設定します。

〈設定条件〉

2040年までに合計特殊出生率が人口置換水準の2.07まで上昇し、その後は2.07を維持することを仮定します。

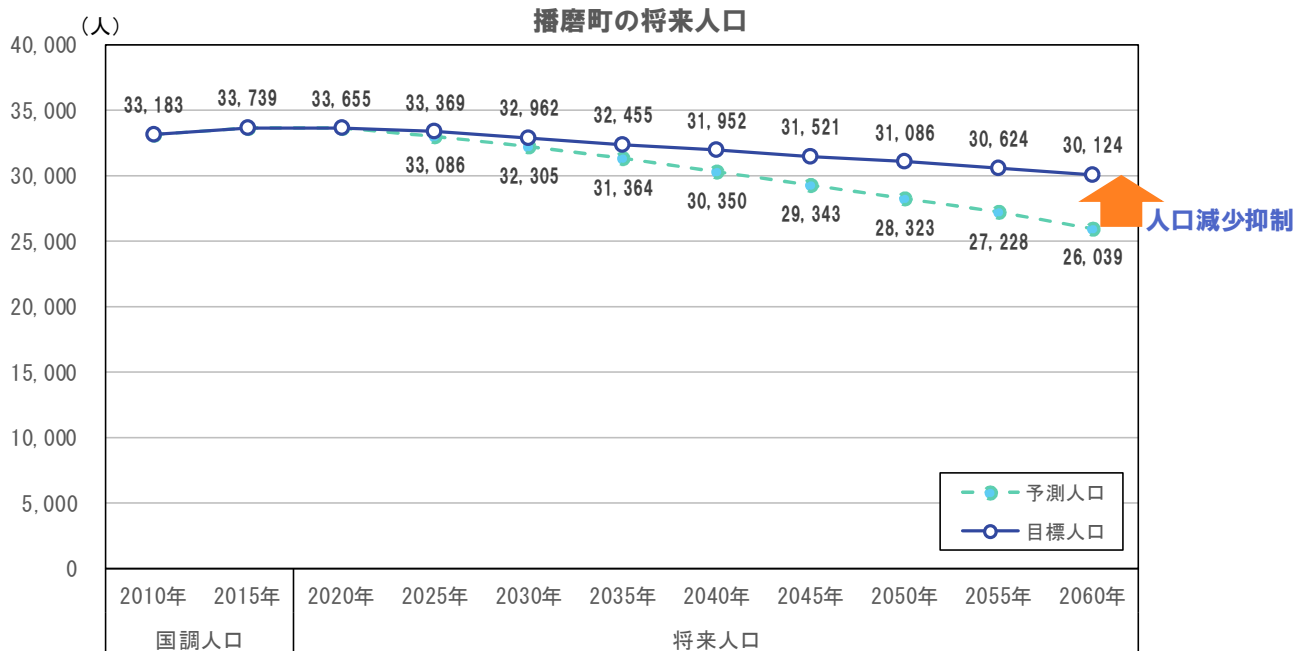
出生パラメータ	仮定値(目標人口)								
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.69	1.78	1.88	1.97	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

移動については性別・年齢別の純移動率は2020年値を維持することを仮定します(予測人口の仮定では、社人研の仮定を踏まえ、性別・年齢別の純移動率は減少していくことを仮定しています)。

〈目標人口〉

上記の設定条件を踏まえた目標人口は、2040年で31,952人、2060年で30,124人となります。

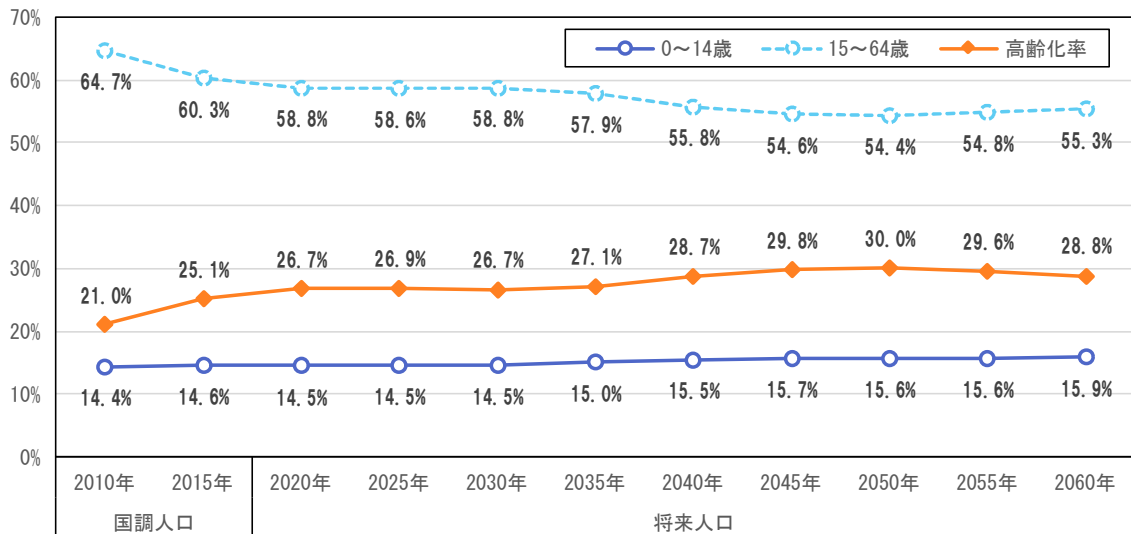
合計特殊出生率の上昇並びに移動率の維持により、予測人口と比べた人口減少抑制効果は、2040年時点で約1,600人、2060年時点で約4,090人となります。



年齢構造については、合計特殊出生率上昇の効果により、0～14 歳人口比率が徐々に高まり、2040 年には 15.5%、2060 年には 15.9%となることが想定されます。

高齢化率については、2050 年の 30.0%をピークに 2060 年には 28.8%となる見込みです。

目標人口の年齢構造の推移



(単位：人)

目標人口	国調人口		将来人口								
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口	33,183	33,739	33,655	33,369	32,962	32,455	31,952	31,521	31,086	30,624	30,124
0～4歳	1,391	1,615	1,484	1,514	1,558	1,577	1,588	1,533	1,504	1,512	1,535
5～9歳	1,604	1,644	1,732	1,590	1,622	1,670	1,690	1,702	1,643	1,612	1,620
10～14歳	1,769	1,674	1,655	1,746	1,602	1,635	1,684	1,703	1,715	1,656	1,625
15～19歳	1,749	1,732	1,633	1,613	1,699	1,559	1,591	1,639	1,657	1,669	1,611
20～24歳	1,737	1,651	1,668	1,573	1,553	1,633	1,500	1,530	1,576	1,594	1,606
25～29歳	1,899	1,704	1,636	1,654	1,559	1,541	1,623	1,491	1,521	1,567	1,585
30～34歳	2,184	1,967	1,792	1,722	1,740	1,641	1,621	1,706	1,568	1,600	1,648
35～39歳	2,653	2,352	2,041	1,859	1,789	1,806	1,705	1,682	1,766	1,623	1,656
40～44歳	2,269	2,736	2,421	2,100	1,914	1,841	1,859	1,756	1,733	1,820	1,673
45～49歳	1,951	2,259	2,689	2,380	2,067	1,884	1,813	1,831	1,730	1,706	1,790
50～54歳	1,899	1,905	2,214	2,637	2,334	2,028	1,849	1,779	1,798	1,698	1,675
55～59歳	2,248	1,862	1,881	2,187	2,606	2,309	2,008	1,830	1,762	1,780	1,682
60～64歳	2,864	2,173	1,807	1,828	2,127	2,537	2,250	1,959	1,785	1,719	1,736
65～69歳	2,482	2,750	2,081	1,735	1,758	2,046	2,443	2,170	1,890	1,722	1,659
70～74歳	1,799	2,307	2,588	1,964	1,642	1,667	1,942	2,323	2,064	1,799	1,638
75～79歳	1,303	1,572	2,032	2,297	1,751	1,471	1,498	1,749	2,091	1,858	1,622
80～84歳	808	1,044	1,254	1,647	1,889	1,452	1,229	1,260	1,466	1,751	1,558
85～89歳	391	554	718	875	1,174	1,374	1,071	918	940	1,090	1,301
90歳以上	183	238	329	448	578	784	988	960	877	848	904
構成比											
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.5%	14.5%	15.0%	15.5%	15.7%	15.6%	15.6%	15.9%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.6%	58.8%	57.9%	55.8%	54.6%	54.4%	54.8%	55.3%
65～74歳	12.9%	15.0%	13.9%	11.1%	10.3%	11.4%	13.7%	14.3%	12.7%	11.5%	10.9%
75歳以上	8.1%	10.1%	12.9%	15.8%	16.4%	15.7%	15.0%	15.5%	17.3%	18.1%	17.9%
高齢化率	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.1%	28.7%	29.8%	30.0%	29.6%	28.8%

※国調人口について、年齢不詳人口がある場合はこれを社人研按分値を踏まえて按分している。

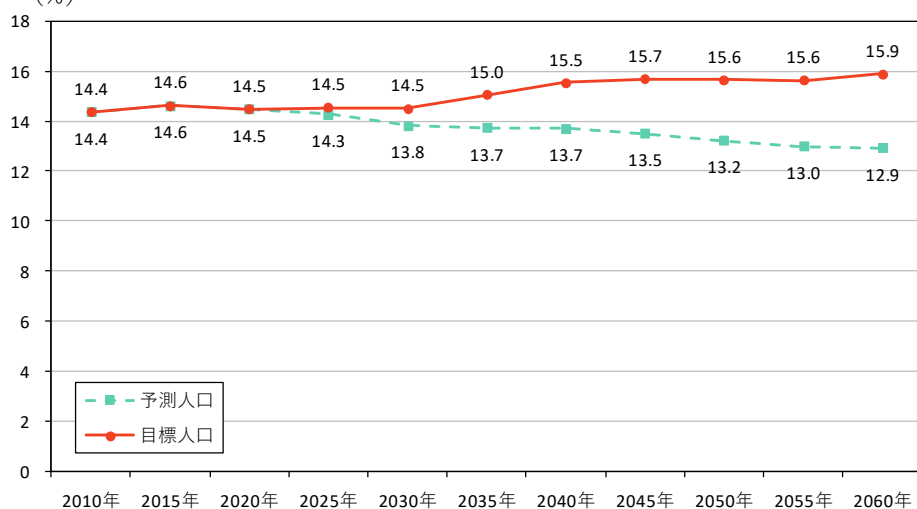
(3) 予測人口と目標人口の比較

社人研推計準拠の補正による予測人口と目標人口を比較すると次とおりです。

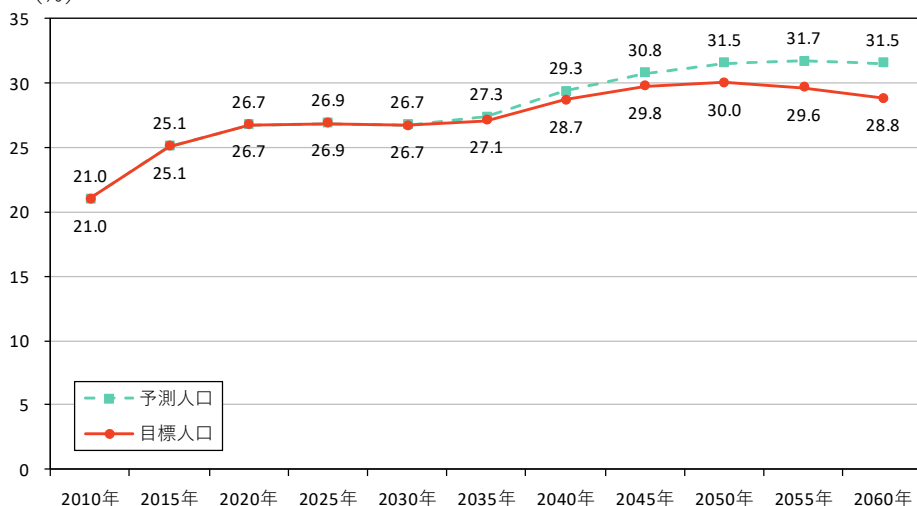
(単位：人)

	国調人口		将来人口									
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	
予測人口	33,183	33,739	33,655	33,086	32,305	31,364	30,350	29,343	28,323	27,228	26,039	
0～14歳	4,764	4,933	4,871	4,724	4,463	4,306	4,158	3,963	3,746	3,538	3,364	
15～64歳	21,453	20,341	19,782	19,474	19,206	18,480	17,285	16,356	15,653	15,057	14,466	
65歳以上	6,966	8,465	9,002	8,888	8,636	8,578	8,907	9,024	8,924	8,633	8,209	
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.3%	13.8%	13.7%	13.7%	13.5%	13.2%	13.0%	12.9%	
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.9%	59.5%	58.9%	57.0%	55.7%	55.3%	55.3%	55.6%	
65歳以上	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.3%	29.3%	30.8%	31.5%	31.7%	31.5%	
目標人口	33,183	33,739	33,655	33,369	32,962	32,455	31,952	31,521	31,086	30,624	30,124	
0～14歳	4,764	4,933	4,871	4,850	4,782	4,882	4,962	4,938	4,862	4,780	4,780	
15～64歳	21,453	20,341	19,782	19,553	19,388	18,779	17,819	17,203	16,896	16,776	16,662	
65歳以上	6,966	8,465	9,002	8,966	8,792	8,794	9,171	9,380	9,328	9,068	8,682	
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
0～14歳	14.4%	14.6%	14.5%	14.5%	14.5%	15.0%	15.5%	15.7%	15.6%	15.6%	15.9%	
15～64歳	64.7%	60.3%	58.8%	58.6%	58.8%	57.9%	55.8%	54.6%	54.4%	54.8%	55.3%	
65歳以上	21.0%	25.1%	26.7%	26.9%	26.7%	27.1%	28.7%	29.8%	30.0%	29.6%	28.8%	

(%) 年少人口割合



(%) 高齢者人口割合



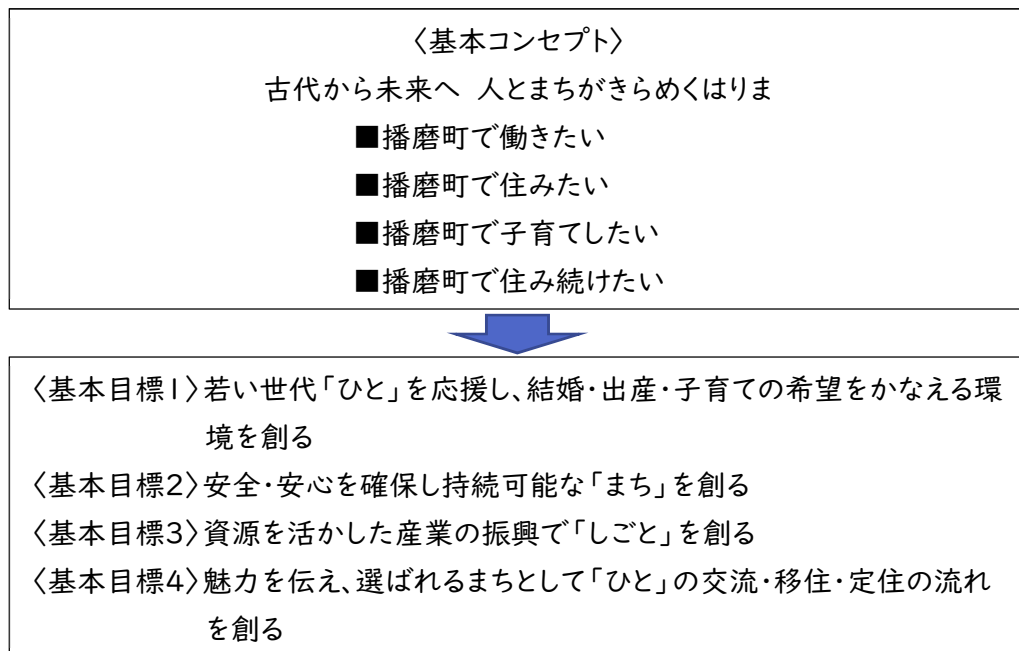
第3章 基本的な考え方

1. 「第2期総合戦略」の考え方

(1) これまでの経緯

～2015年以降の経緯～

- 2015年策定の「播磨町人口ビジョン」では、2060年に30,071人を確保することを目的に、2020年においては33,251人の人口維持をめざすこととしていました。
- こうした目標に向け、「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、次のような基本コンセプトと4つの基本目標に基づく取組を進めてきました。



- 「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による取り組みを始めた2015年以降の人口動向（国調ベース）についてみると、2019年（10月1日現在）時点で33,700人となっており、「播磨町人口ビジョン」における2020年時点の目標人口を上回るペースで推移しています。

～「播磨町人口ビジョン」の見直しによる新たな長期的目標人口の設定～

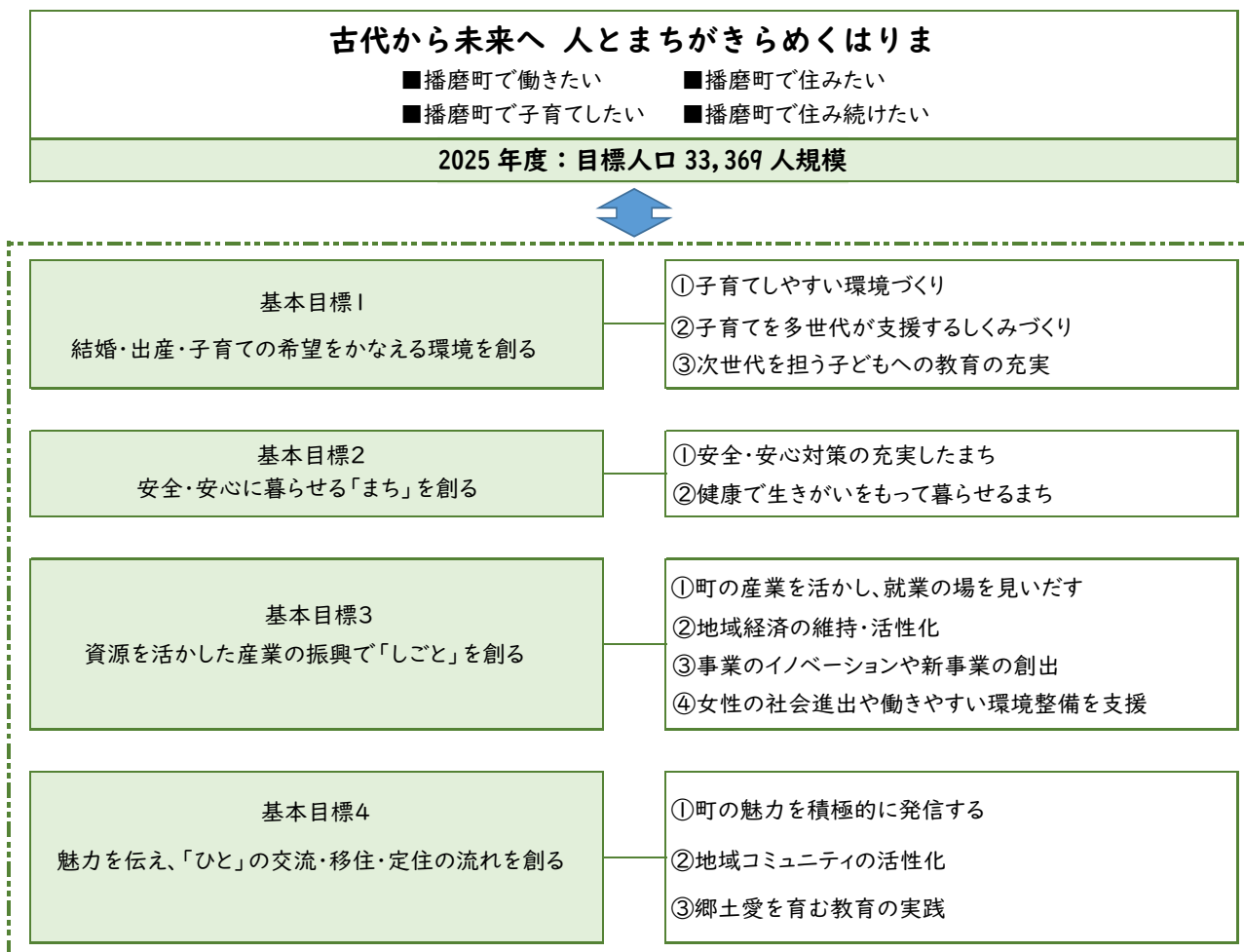
- こうした状況を踏まえ、（前掲のとおり）「播磨町人口ビジョン」を見直し、新たな長期的目標人口として2060年に30,124人を設定するとともに、2025年には33,369人の人口を維持することをめざすこととします。

(2) 「第2期総合戦略」の考え方

「第2期総合戦略」(2021~2025年度)においては、本町の新たな長期的目標人口を踏まえ戦略が最終年度となる2025年度に33,369人規模の人口を維持することが人口政策上の目標となります。

「第2期総合戦略」の目標人口 2025年度:33,369人規模

また、この目標人口を実現するため、基本コンセプトについては従来のコンセプトを踏襲するとともに、基本目標についても従来の4本柱をベースに必要な見直しを行い、「第2期総合戦略」全体については次のような構造として策定します。



第4章 具体的な戦略

基本目標Ⅰ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る

子育て世代が希望をもって結婚・出産・子育てをすることができるまちをめざし、地域全体で切れ目のない支援を行います。



基本的方向

- ・結婚・出産・子育てを一体的に支援し、子育てしやすい環境を創ります
- ・子育てを、多世代が支援するしくみづくりを進めます
- ・次世代を担う子どもへの教育を充実します

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
年少人口(0~14歳人口)の割合	14.5 (%)	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5
今後も播磨町で子育てをしたいと思う人の割合	98.1 (%)	98.1	98.2	98.2	98.3	98.3

◆今後も播磨町で子育てをしたいと思う人の割合:乳幼児健診結果より

【主要施策】

①子育てしやすい環境づくり

～ 結婚・出産・子育てを一体的に支援する ～

- 子ども窓口において、必要な子育て支援施策を情報提供する。
- 結婚・出産・子育ての希望の実現を支援するため、結婚、妊娠から産前産後をはじめ、子育て家庭を切れ目なく支援する環境を整備する。
- 延長保育や病後児保育など多様な保育サービスにより、利用希望者に対して保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
子育て支援センターのイベント参加者数	6,285 (人)	*300	*500	*1,000	3,000	5,000
子育てアプリ登録者数	422 (人)	470	520	570	620	670

※新型コロナウイルス感染症によるイベント縮小の影響を考慮

②子育てを多世代が支援するしくみづくり

～ 地域全体で子育てをする取り組みを推進する ～

- ファミリーサポートセンターなど、地域の人材を活用して子育て世代を支援する。
- 学校運営協議会を設置し、地域の連携・協力を図り、地域全体で子どもたちの学びを推進する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
「サポートチーム播磨」のボランティア数	54 (人)	56	58	60	62	64
ファミリーサポートセンターへの登録者数(提供会員)	75 (人)	75	75	75	75	75

③次世代を担う子どもへの教育の充実

～ 生きる力を育む教育を推進する ～

- 幼稚園のこども園化など、特色ある教育のさらなる充実を図る。
- グローバル化する社会や情報化社会に対応できる人材育成のため、プログラミング教育の実施やICT環境の整備など、情報教育の推進を図る。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
幼稚園に満足している保護者の割合	— (%)	70.0	70.0	72.0	72.0	72.0
教員のICT活用指導力	63.9 (%)	68.0	70.0	72.0	74.0	76.0

◆幼稚園に満足している保護者の割合:保護者アンケート(新)より

◆教員のICT活用指導力:「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教育のICT活用指導力チェックリスト」において「できる」「ややできる」と回答した教員の割合

基本目標 2 安全・安心に暮らせる「まち」を創る

安全で安心して住み続けたいまちをめざし、災害や犯罪、健康に対する不安の解消に努めるとともに、快適で利便性の高い持続可能なまちづくりを進めます。



基本的方向

- ・安全・安心対策の充実したまちを創ります
- ・健康で生きがいをもって暮らせるまちを創ります

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
住み続けたい住民の割合	87.5 (%)	87.6	87.7	87.8	87.9	88.0

◆住み続けたい住民の割合：住民アンケートより

【主要施策】

①安全・安心対策の充実したまち

～ 効率的な安全・安心対策を実施する ～


- 防犯灯や防犯カメラ設置の補助を行うことで犯罪を抑止する。
- 地域における防犯パトロールや見守り活動へ継続的な支援を行う。
- 水害対策として、雨水幹線の整備を進める。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
下水道による都市浸水対策の達成率	64.7 (%)	64.7	65.0	66.0	66.0	66.3
防災安心ネットはりま登録者数	4,031 (人)	4,200	4,400	4,600	4,800	5,000

②健康で生きがいをもって暮らせるまち

～ 健康に対する意識の向上をめざす ～

- 健康の大切さを意識し、生涯を通じて健康を維持・継続するために、正しい知識を習得できるよう、健康づくりに取り組むための支援を行う。
- 健康寿命の延伸を図るため、生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる機会や場を提供する。
- 自然を感じ緑に親しめる公園・緑地の整備や活用により、快適な生活環境を提供する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)					目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
健康ポイントの達成者数	84 (人)	80	100	200	250	300
健康増進施設及びスポーツ施設 の利用者数	375,612 (人)	492,000	493,000	494,000	495,000	496,000

基本目標3 資源を活かした産業の振興で「しごと」を創る

多くの人々が安心して働くことができる環境を整備するとともに、企業や事業者の新しい技術開発などを支援することで地域経済の活性化と働く場を増やします。



基本的方向

- ・町の産業を活かし、就業の場を見いだします
- ・地域経済の維持・活性化に向け地域の産業を支援します
- ・事業のイノベーションや新事業の創出を支援します
- ・女性の社会進出や働きやすい環境整備を支援します

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
町内総生産	136,950 (百万円)	130,000	120,000	125,000	125,000	130,000

【主要施策】

①町の産業を活かし、就業の場を見いだす

～ 働く場を増やす ～

○企業誘致や創業支援を行い、町内の働く場を増やす。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
町内従業者数	11,446 (人)	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
商工会の会員数	534 (者)	536	538	540	542	544

②地域経済の維持・活性化

～ 地域の産業を支援する ～

○産業振興に関する連携を軸に、地域ブランドの開発や販売機会の提供を支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
四者連携協定に基づくイベント実施回数	2 (回)	3	3	4	4	5

③事業のイノベーションや新事業の創出

～ 新しい技術や事業を支援する ～

○町内の企業や事業者の新しい技術などの導入を支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
先端設備等導入計画に基づく設備導入件数(累計)	10 (件)	13	16	19	22	25

④女性の社会進出や働きやすい環境整備を支援

～ ワーク・ライフ・バランスの啓発をする ～

○女性が働きやすい環境づくりに向けた取り組みを関係機関と連携しながら支援する。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
女性の就業者数	6,436 (人)	6,500	6,500	6,500	6,500	6,600
ワーク・ライフ・バランス宣言企業数	6 (者)	8	8	10	10	12

◆ワーク・ライフ・バランス宣言企業数:公益財団法人兵庫県勤労福祉協会 ひょうご仕事と生活センターHP より「ひょうご仕事と生活の調和」推進企業宣言を行っている町内事業所数

基本目標 4 魅力を伝え、「ひと」の交流・移住・定住の流れを創る

多様な広報手段により町の認知度 UP を進め、住みたい・住み続けたい、「選ばれるまち」をつくります。



基本的方向

- ・町内外に向けて本町の魅力を積極的に情報発信します
- ・地域のコミュニティ活性化を支援します
- ・子どもの頃から播磨町をふるさとと思えるように愛着と誇りを育てます

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
人口の社会増	26 (人)	20	20	20	20	20

【主要施策】

①町の魅力を積極的に情報発信する

～ 多様な手段を活用し、誰もが情報発信できる機会・しくみをつくる ～

- 播磨町に関わりのある誰もが、町の魅力の発信者として活躍できる機会やしくみをつくる。
- 本町の魅力、様々な地域資源について効果的に情報発信を行うため、これまでの広報紙・HP・ポスターといった情報発信手段に加え、SNS や動画投稿サイト等を活用し、定住者や来訪者を増加させる。また、町内外で活躍し、本町にゆかりのある方に「播磨町ふるさと PR 大使」を委嘱し、効果的に本町の魅力を発信していく。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	→				目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
町公式 SNS のフォロワー数	580 (人)	610	640	670	700	730
町公式 SNS 発信数	32 (件)	35	40	45	50	55

②地域コミュニティの活性化

～ 地域コミュニティを支援する ～


- 新たな住民が地域にとけ込み、地域社会の活力が高まるよう支援を行う。
 ○地域コミュニティの活性化を図るため、自治会等団体活動の運営に関する助言を行い、地域活動の支援を行う。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)					目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
まちづくりアドバイザーによる支援数	14 (件)	15	15	15	15	15
コミュニティセンター利用者数	111,179 (人)	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000

③郷土愛を育む教育の実践

～ 播磨町に住み続ける人を増やす ～

- 学校教育等を通じ、子どもの頃から地域への愛着を育む。また、播磨町から離れた人も戻るきっかけとなる取り組みを行う。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)					目標値
		2021	2022	2023	2024	2025
「郷土への愛着」をもっている若者の割合	91.2 (%)	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
二十歳のつどい(仮称)(旧:成人式)出席率	74.7 (%)	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
地元行事や地域活動に参加した児童・生徒の割合	64.2 (%)	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0

◆「郷土への愛着」をもっている若者の割合:二十歳のつどい(仮称)(旧:成人式)におけるアンケートより

◆地元行事や地域活動に参加した児童・生徒の割合:全国学力テスト(小学6年生、中学3年生)における設問「今住んでいる地域の行事に参加している」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合